

科目名	RTW技術	整理番号	
学科	アパレルテクニック科	期	通年
コース	アパレルテクニック科		夜間
学年	3年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	150	作成者	酒井知可子

【科目の到達目標】

既製服のデザイン、縫製の一貫した知識と技術を持った人材の育成。

【科目の概要】

素材の多様化、縫製機器の発達に伴い、素材に応じた縫製方法、工程を分析し作品を仕上げることによって既製服縫製のテクニックの習得を目指す。

デザイン、製図、シルエットチェック、仕様書、工業用パターン作成、縫製の実習。

【授業計画】

75分/コマ		前期	後期
1・2	テーラードジャケット製図		31・32 子供服(又は外部販売企画)
3・4	テーラードジャケット裁断		33・34 ↓
5・6	テーラードジャケット縫製		35・36 ↓
7・8	↓		37・38 ↓
9・10	↓		39・40 創作デザインドレス
11・12	↓		41・42 (上田学園コレクション作品振替)
13・14	↓		43・44 ↓
15・16	脇ゴムスカート		45・46 ↓
17・18	↓		47・48 ↓
19・20	↓		49・50 ↓
21・22	↓		51・52 ↓
23・24	牛革のスカート(その他)		53・54 ↓
25・26	↓		55・56 ↓
27・28	↓		57・58 ↓
29・30	提出 試験		59・60 ↓
			61・62 ↓
			63・64 ↓
			65・66 ↓
			67・68 ↓
			69・70 ↓
			71・72 ↓
			73・74 ↓
			75・76 ↓
			77・78 ↓
			79・80 ↓
			81・82 ↓
			83・84 ↓
			85・86 ↓
			87・88 まとめ
			89・90 試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『ジャケット』『スカート』『ワンピース』『縫い方全書』『洋裁』 上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

筆記用具、洋裁道具一式、製図用具一式

科目名	クリエイションテクニック	整理番号	
学科	アパレルテクニック科	期	前期
コース	アパレルテクニック科		夜間
学年	3年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	50	作成者	酒井知可子

**【科目の到達目標】**

クリエイションに必要なクチュールの要素のある繊細な素材の扱い方、工業用の作品へのデザインとして取り入れ方などを視野に入れて部分縫いで習得。

**【科目の概要】**

繊細な素材にも対応出来た上で、作品としてデザインに取り入れ、効率よく製作する方法を習得。

**【授業計画】**

75分/コマ

- 1・2 就職用作品(セットアップ)製図
- 3・4 就職用作品 裁断
- 5・6 就職用作品 縫製
- 7・8 ↓
- 9・10 ↓
- 11・12 ↓
- 13・14 ↓
- 15・16 チュールレース・ケミカルレースの部分縫い
- 17・18 ↓
- 19・20 ↓
- 21・22 薄物始末の部分縫い
- 23・24 ↓
- 25・26 ベルベットの部分縫い
- 27・28 ↓
- 29・30 まとめ、試験

**【成績評価方法】**

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

配布プリント、『縫い方全書』上田安子服飾専門学校 最新版

**【教材・教具】**

洋裁道具一式・製図用具一式

科目名	パターンメイキングⅢ	整理番号	
学科	アパレルテクニク科	期	通年
コース	アパレルテクニク科		夜間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	100	作成者	上田安子パターン担当

**【科目の到達目標】**

基本パターンから各種デザインパターンへの理論的な展開方法を学び、工業用パターンの作成までを修得。  
女子衣料の規格サイズの理解。既製服のサイズ展開の基本知識を養う

**【科目の概要】**

ファッション産業において海外に生産を移行している時代、オリジナルデザイン、シルエットを表現できる技術は、確かなパターン力によるところが大きい。本授業では基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック後、パターン作成まで。基本のアイテムのサイズ展開の方法を修得する。

**【授業計画】**

75分/コマ	前期		後期
1・2	概論 工業用パターンの知識 テーラードJK作図復習	31・32	グレーディング   概論 タイトスカート
3・4	ジャケット原型(テーラードカラー) 作図 パターン作成トワール組み立てチェック	33・34	身頃 袖
5・6	表襟の展開、見返しの展開 裏地の作成方法 工業用パターン	35・36	↓
7・8	ゴージダーツⅡ種	37・38	メンズジャケット   作図
9・10	↓	39・40	↓
11・12	↓	41・42	↓ パターン作成
13・14	ダブル打合わせピークドラペルジャケット 基本からの展開	43・44	ラグランコート   作図、トワール組立て
15・16	↓	45・46	パターン作成
17・18	↓	47・48	↓
19・20	ショールカラージャケットへ展開 基本からの展開パターン作成、見返し作成	49・50	↓
21・22	↓	51・52	船形袖のコート   作図 トワール組
23・24	↓	53・54	↓
25・26	ブラウス   作図、トワール組立て	55・56	↓
27・28	↓	57・58	工業用パターン作成
29・30	前期試験	59・60	後期試験 パターン作成

**【成績評価方法】**

課題作品評価 60% 期末試験 30 % 授業態度 10 %  
以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する

**【教科書・参考書】**

オリジナルプリント  
山路俊美 『紳士服製図・型紙の作り方』 上田安子服飾専門学校

**【教材・教具】**

実寸製図用具・トワール(デザインに合わせて的確な厚さの物)・  
シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等